

HP ProLiant Storage ServerおよびHP StorageWorks NASでのWindows Updateの有効化



すべてのHP StorageWorks NASおよびHP ProLiant Storage Server製品で、Microsoft Windows Updateと自動更新の機能はデフォルトで無効になっています。Windows Updateと自動更新を有効にするには、次の手順に従ってください。

Windows Storage Server 2003をベースにしたシステムでのWindows Updateの有効化

次の手順は、Microsoft Windows Storage Server 2003をベースにした製品に適用されます。これらの製品は次のとおり。

- HP StorageWorks NAS 500s
- HP StorageWorks NAS 1200s
- HP StorageWorks NAS 1500s
- HP StorageWorks NAS 2000s
- HP StorageWorks NAS 4000s
- HP StorageWorks NAS 9000s
- HP ProLiant ML 110 Storage Server
- HP ProLiant ML 350 Storage Server
- HP ProLiant ML 370 Storage Server
- HP ProLiant DL 100 Storage Server
- HP ProLiant DL 380 G4 Storage Server
- HP ProLiant DL 580 G2 Storage Server

上記各製品に対しましてはHP NAS OSサービスリリース(SR-5.4以降)のインストール後に行ってください。

Windows Updateと自動更新を有効にするための手順

Windows Storage Server 2003をベースにしたHP StorageWorks NAS 及び、HP ProLiant Storage ServerのWindows Updateを有効にする場合は、HP NAS OS サービスリリース (SR-5.4以降) のインストールを行った後、以下の手順に沿ってWindows Updateを有効にしてください。

ローカル・コンピュータに管理者権限を持つアカウントを使用してサーバにログオンします。グループ・ポリシー・オブジェクト・エディタを実行します。エディタを実行するには、コマンド・ライン・プロンプトで「gpedit.msc」と入力するか、またはデスクトップから[スタート] -> [ファイル名を指定して実行]メニューを選択して「gpedit.msc」と入力します。

左のウィンドウ・ペインで、ツリーの一覧から次の項目を選択します。

[ユーザーの構成] >> [管理用テンプレート] >> [Start Menu and Taskbar]

1. 右のウィンドウ・ペインで、[Remove links and access to Windows Update]をダブルクリックします。
2. ポリシー設定を[有効]から[未構成]に変更し、[OK]をクリックします。
3. 左のウィンドウ・ペインで、ツリーの一覧から次の項目を選択します。

[ユーザーの構成] >> [管理用テンプレート] >> [Windows Components] >> [Windows Update]

4. 右のウィンドウ・ペインで、[Remove access to use all Windows update features]をダブルクリックします。
5. ポリシー設定を[有効]から[未構成]に変更し、[OK]をクリックします。
6. 左のウィンドウ・ペインで、ツリーの一覧から次の項目を選択します。

[コンピュータの構成] >> [管理用テンプレート] >> [Windows Components] >> [Windows Update]

7. 右のウィンドウ・ペインで、一覧表示されている4つの設定の状態をすべて[未構成]に設定します (各設定をダブルクリックし、ポリシー設定を[未構成]に変更して、[OK]をクリックします)。
8. 左のウィンドウ・ペインで、ツリーの一覧から次の項目を選択します。

[ユーザーの構成] >> [管理用テンプレート] >> [System]

9. 右のウィンドウ・ペインで、[Windows Automatic Updates]をダブルクリックします。ポリシー設定を[無効]から[未構成]に変更し、[OK]をクリックします。
10. グループ・ポリシー・オブジェクト・エディタを終了します。
11. 以下の手順に従って、自動更新サービスのスタートアップの種類を手動から自動に変更します。
12. [スタート]メニューを使用して、サービス・マネージャを起動します。

[スタート] >> [プログラム] >> [管理ツール] >> [サービス]

13. 右側のウィンドウ・ペインで、[Automatic Updates]サービスをダブルクリックします。[自動更新プロパティ]ウィンドウが表示されます。
14. [スタートアップの種類]パラメータを、[手動]から[自動]に変更します。
15. [開始]ボタンを選択します。自動更新サービスが起動されていることを確認します。
16. [OK]ボタンを選択します。

17. [Services]ウィンドウを閉じます。

注記:変更を有効にするには、システムの再起動が必要になる場合があります。

HP StorageWorks NASおよびHP ProLiant Storage Serverの一部のモデルでは、リモート・レジストリ・サービスが無効になっています。Microsoft Windows Updateツールを使用してシステムをリモートでスキャンおよび更新できるようにするには、リモート・レジストリ・サービスを有効にして起動する必要があります。リモート・レジストリ・サービスを起動するには、以下の手順に従います。

1. [スタート]メニューを使用して、サービス・マネージャを起動します。

[スタート] >> [プログラム] >> [管理ツール] >> [サービス]

2. 右側のウィンドウ・ペインで、[Remote Registry]サービスをダブルクリックします。[Remote Registryのプロパティ]ウィンドウが表示されます。
3. [スタートアップの種類]パラメータを、[手動]から[自動]に変更します。
4. [スタート]ボタンを選択します。リモート・レジストリ・サービスが起動されていることを確認します。
5. [OK]ボタンを選択します。
6. [Services]ウィンドウを閉じます。

Windows Updateの使用

パッチを適用するための推奨される手順は次のとおりです。

1. 信頼性の高いバックアップを常に実行します。
2. クラスタ環境の場合は、パッチを適用していないノードにすべてのクラスタ・リソースを移動します。
3. HP Virtual Replicator Serviceがインストールされているシステムでは、SVR Management Service (esmgrs) およびSVR Lifeguard Service (swvrmon) を停止します。
4. 適切なパッチを適用します。
5. サーバを再起動します。

Windows Updateは、次の場所に格納されている実行可能ファイルです。

C:\WINDOWS\System32\wupdmgr.exe または
C:\WINNT\System32\wupdmgr.exe

Windows Updateは、コマンド・ラインから手動で実行することも、デスクトップから[スタート] -> [ファイル名を指定して実行]メニューを選択して実行することもどちらも可能です。すばやくアクセスするために、オプションとして、[スタート]メニューまたはデスクトップに追加することもできます。Windows Updateはまた、Internet Explorerの[ツール]メニューからも実行できます。

コントロール・パネルの[システム]アプレットにある[自動更新(Automatic Updates)]タブを選択すると、更新を自動化できます。[コンピュータを常に最新の状態に保つ(Keep My computer up to date)]を選択し、希望する動作とスケジュールを選択します。

© Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P. このガイドに含まれる情報は、予告なしに変更される場合があります。HP製品とサービスに関する保証は、それらの製品とサービスに付属する保証書のみによって規定されます。本書の一切は、追加保証を意味するものではありません。HPは、本文書に含まれた技術上または編集上の過失または脱落に対して責任を負わないものとします。

Itaniumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標であり、ライセンスの下で使用されています。

5983-0484EN, 1/2005

